

WK

WA-KURAS

Kumamoto Work & Life Paper

ワクワク、はたらく。

ワクワク、くらす。

あしたも、
あさっても
熊本で、
大事な人と
生きていく。

| 巻頭特集 |

祝成人 SPECIAL INTERVIEW

KEYTALK

熊本のものづくりの将来を支える!!
～工業系高校生の就職活動事情～

Workers Interview!

県外出身の私たちが熊本を選んだ理由

大学インフォメーション

Campus shot!

九州ルーテル学院大学&九州看護福祉大学

Kumamoto Economic News

CLUB PRESS

菊池女子高校

バトントワーリング部

2019.1.30

vol.

5



KEYTALK

Information

◆DVD & Blu-ray
「幕張メッセ ワンマンライブ ド真ん中で頑張マッセ～shall we dance?～」
絶賛発売中!!

◆3/7「HAPPY JACK 2019 ～H-FINAL EDITION～」出演決定!!

Profile

2009年7月に小野武正(ギター)、首藤義勝(ボーカル&ベース)、寺中友将(ボーカル&ギター)、八木優樹(ドラム&コーラス)で結成。常に話題を振りまき、勢いが止まらないKEYTALKに各方面から更なる注目が集まっている。



10代・20代を中心に圧倒的な支持を得ているロックバンド「KEYTALK」。2015年には日本武道館、昨年は幕張メッセでワンマンライブを成功させるなど、ロックとエンターテインメントの融合を見事に体現するバンドとして音楽ファンを魅了しています。そんな彼らは現在30歳。ハタチの頃にはどんな夢を抱いていたのか話を聞きました。

とにかく一番やりたいことに夢中で突っ走ってきた

メンバーの中で唯一の九州男児、寺中友将さん（Vo, Gt）は熊本市出身。寺中さんは高校時代の3年間、部活動でボクシングに専念していたそう。

「そのままボクシングを続けて大学進学の話もあったんですけど、自分が一番やりたいことを考えた時に、〝音楽をしたい。〟と思ったんです。そこから音大の過去問を取り寄せたり参考書を買ったりして、学校の休み時間に猛勉強しました。音楽をやりたいワクワク感の方が強くて、苦にはならなかったですね」と当時と変わらないであろう瞳を輝かせます。

「僕はずっと音楽一筋。ギターだけで生計を立てるのが夢だった」と話すのはリーダーの小野武正さん（Gt, Cho）。「夢中で突っ走ってきたら、今に至るという感じ」と笑顔を見せます。首藤義勝さん（Vo, Ba）は「ぼんやりと音楽でやっていけたらいいなって考えてたけど、振り返ってみるとすごい決断だなんて思います。不安もあったけど、根拠のない自信があった。もし今の年齢での決断だとしたら、同じ選択はできないかもしれないですね。ハタチ前後って特有のみなぎるパワーがあると思うし、夢の力を信じて頑張ってみてほしいなって思います」。その言葉に続いて、



ん（Dr, Cho）も「高校、大学と音楽をやって今のメンバーとも出会ったので、バンドを続けていくことが当たり前という感覚だった」と、今につながる当時の想いを話してくれました。

熊本のお食べ物や自然が大好き 何より〝人。〟がいい！

さて、熊本市東区の健軍で育ったという寺中さん。インディーズ時代、九州一円のライブツアーは、寺中

さんの実家を拠点に回っていたとか。そこでメンバーに熊本の良さを尋ねてみました。

「今アツい(!?) 健軍ですね。ショップで帽子を買って巨匠（寺中さんの愛称）の家に帰ったら、おばあちゃんが〝かわいい帽子だねえ。って（笑）」（小野さん）。

「路面電車がいいよね。馬刺しも大好きになりました」（首藤さん）。

「海もきれいだし阿蘇山もあって自然が素晴らしいこと。あと街中もアーケードが広いのでせわしくなくて、下通とか歩くと癒やされますね」（寺中さん）。



成人おめでとうございます。ハタチになった皆さんは今、どんなことを考えていますか。急にオトナだと言われて、いろいろ不安もあるかもしれないけれど、一つ言えることは、オトナって楽しいです。これからの人生を自分で決められるし、やりたいことは何でも自由にできる（もちろん、法律の範囲内で）。そして何より、若さという武器があります。若

「巨匠を通じて知り合う熊本人って面白くて熱い人が多い。そういう空気感が街全体にあるような感じがします」（八木さん）。

失敗しても次はある！ ワクワクすること、グッとくること まずは、自分の気持ちに気づくことから



さにはパワーがある。そのパワーを皆さんは持っています。だから、心配しなくて大丈夫。前を向いて、これからの人生を走り抜けてください。WA-KURASは皆さんを応援しています。

メンバー全員が作詞作曲を行うということで、ものづくりを行う上で大事にしているプロセスについても聞いてみました。

「根幹にはこの4人で出せる最高にポップなメロディーがあって、そこに多様なアイデンティティーを絡ませるのが僕らのスタイル。この10年、分け隔てなく挑戦するマインドを大事にしてきました。やってみて違ったら違ったでいい。チャレンジしたことで気づけることはたくさんある。そういう自由な姿勢はずっと変わらないし、これからも大事にしたいなと思います」

まずは自分がグッとくること、ワクワクすることから始めてみる。失敗したら、また別の何かを探せばいいと、背中を押してくれるKEYTALK。最後に、熊本に住むハタチのみんなへエールを送ってくれました。

「僕ら以上に無限大のあなたは、今何が好きですか？ やりたいことがわからないという人も、まずは好きなことを思い浮かべてみてほしい。それを突き詰めて磨きをかけていくと、人生をより楽しく過ごせると思います」（小野さん）。

「大学進学で上京してから感じたことは、熊本って友達同士の絆がすごく強い場所だなんてことでした。昔みたいに楽しく過ごせる仲間が、いつでも会える場所にいるって実はすごく幸せなこと。今いる友人を大切に、横のつながりを大事にしていけば、きっと仕事にもつながるだろうし、隣にいる人を大切にし



てください」（寺中さん）。

「急に社会に放り出されて不安を感じることもあると思うけど、人生ってなんとかなるもの。大丈夫だよって伝えたいです」（首藤さん）。

「お酒に気をつけて、体を大事に楽しく生きてください。僕たちもみんなも、可能性は無限大!」（八木さん） <手で無限大のキメポーズ!>。

抽選で
5名様

PRESENT
WK読者限定プレゼント
「KEYTALKサイン色紙」

応募方法は最後のページをCHECK!

熊本のものづくりの 将来を支える!!

～工業系高校生の就職活動事情～

工業系高校で学ぶ生徒は、県内のものづくり産業を支える貴重な人材。より多くの生徒が地元企業への就職を選択するための取り組みが進んでいます。生徒の思いや現在の就職活動事情を、熊本工業高校の「熊本しごとコーディネーター」迫田章さん（70）に聞きました。



熊本のページ VOL.5



変化する企業選定の条件 注目集める`ブライト企業、

「熊本しごとコーディネーター」とは、県内の県立工業系高校10校に常駐している就職支援のためのコーディネーターです。

①生徒への就職支援 ②企業の求人の開拓 ③生徒への求人情報の提供 ④生徒や保護者との就職相談 ⑤企業への情報発信—などの取り組みを行っています。

生徒たちが志望する企業を絞り込む際に、重視する条件は時代とともに変わってきました。勤務先が県内かどうかはもちろん、`ブラ

イト企業、の認定を受けているかも注目されるようになりました。また、学校の先輩が働いていることが、安心して働ける企業かどうかの判断材料になるようです。その他、社員寮などの宿舍が用意されて

いるかどうか重要なポイントです。

よりよい人材を確保するためにはさまざまな取り組みが求められます。

3年生になる前から進路選択 早期の情報提供がカギ

企業から学校現場への、情報提供のタイミングが、大切だと考えています。

例年、高校3年生に進級した生徒たちにとって、4月は志望する企業を方向付ける時期です。企業はそれ以前に情報提供の働き掛けを行うことが必要なのですが、実際に求人票が受け付けられるのは7月1日

から。`生徒がすでに就職志望先（企業）を方向付けた後、で、それを変更することは難しい状況です。

実際に生徒が就職について考え出すのは1～2年生の時期であり、どんなに早くても早すぎるということはありません。学校でも早期に働き掛けて、生徒がインターンシップや企業見学会、職業講話等を活用して企業と触れ合う機会を設けるように心掛けています。

生徒に地元の企業を知ってもらい、実際に業務を経験するなど、良質な体験を提供することで、県内定着率の促進にもつなげていきたいですね。

企業と学校の情報共有が 早期離職を防ぎ定着率をUP！

就職を目指す生徒たちに伝えたいことは、「腰を据えてじっくりと考え、保護者や先生、先輩を交えてしっかりと話し合っほしい」ということ。若い世代の早期離職も課題の一つになっており、退職を防ぎ、職場定着率を上げる取り組みが必要です。

そのためには重要となるのが`企業の

情報提供。。生徒にとって貴重な情報を提供するためにも、企業の採用担当の皆さんに学校へ足を運んでいただき、PRしてもらうのは大歓迎です。

企業と学校のコミュニケーションは不可欠。情報を共有し強いパイプでつながることが、将来の求人の礎になります。また、入社後の企業での教育（研修）を充実させ、早期離職防止に取り組むことも求められます。

求人票の特記事項を活用し 働く楽しさ、安心を伝えるツールに

企業情報の要となるのが`求人票。です。企業の概要や福利厚生などの労働条件だけでなく、教育制度、具体的な業務の内容、ブライト企業認定、宿舍の有無など、特記事項の欄は企業PRにつながるものです。

生徒にとって就職活動で大事なことは、企業研究と自己理解です。詳細な情報提供、働く楽しさを伝えることで、人材の確保も可能となります。また、生徒が工業系高校で学んだことを発揮できるものづくりの現場の魅力を存分に伝える求人票であってほしいですね。

工業系高校生へのアプローチ 4つのポイント

✔ 生徒が気になるキーワード

- ①学校の先輩が勤めている
- ②やりがいを持って安心して働くことができる
- ③社員寮などの宿舎がある
- ④人材研修など教育投資に力を注いでいる

✔ 情報提供のターゲットは高校1～2年

✔ 学校にPRに行く行動力のある企業

✔ 求人票を活用し、仕事をPR

県内企業の取り組み

工業系高校生は即戦力！ 熊本の創造的復興を支えよう

九州電設株式会社
代表取締役社長 川内省三さん（46）

工業系高校生は、電工業界で必要な技術や資格を取得している、いわば即戦力。当社では例年10人ほどの新入

社員を採用していますが、工業系高校生には学業で培った専門知識と技術に大きな期待をしています。第一種電気工事士の資格取得には5年間の実務経験が必要なため、その間に技術教育を現場で実践し、電気工事のエキスパートを育てています。

また積極的にインターンシップを受け

入れているほか、入社後には資格取得に必要な費用の助成なども行っています。桜町の再開発や東京オリンピック関連など、歴史的な事業に携われることは大きなやりがいにつながります。ぜひ私たちと共に熊本の創造的復興を支えていきましょう。



県内工業系高校で唯一指定！

災害対応型
エンジニアを育成する

SPH

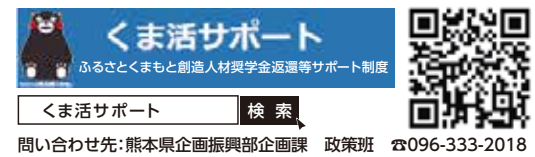
平成30年度、熊本工業高校は、県内の工業系高校で唯一の「スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール（SPH）」（文部科学省）の指定を受け、「産学官協働により災害対応型エンジニアを育成する教育プログラムの開発」を研究課題に、熊本地震に学ぶことから始め、創造的復興を果たすため、災害に対応できるプロフェッショナルを育成しています。

県からのお知らせ

奨学金返還等サポート制度を創設しました！

熊本県では、若者の県内就職と定着、県内企業等の将来の中核を担う人材確保のため、県と県内企業等が協力して、県内に就職する若者の奨学金返還等をサポートする制度を創設しました。

対象者は2020年度就職者（大学等新卒予定者、県外在住の社会人経験者等）で、あらかじめ制度に登録することが必要です。詳しくはウェブサイト「くま活サポート」をご覧ください。



くま活サポート
ふるさとくまもと創造人材奨学金返還等サポート制度

くま活サポート 検索

問い合わせ先：熊本県企画振興部企画課 政策班 ☎096-333-2018

Campus information guide 大学インフォメーション

2019
WINTER

県内の各大学で開かれるイベントなどの情報を紹介します。

参 参加費 申 申し込み



熊本市中央区黒髪2-39-1
☎096-342-2037
(熊本創生推進機構
COC事業担当)

<熊本大学COC事業シンポジウム>3/18(月)13:00~15:30 市民・企業・行政と協力し、地域の課題を解決する人材の育成を進めてきたCOC事業の成果報告会。活動内容や、学生たちの思いなどを発信します。同大くすのき会館にて。

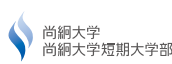
参 無料 申 不要



熊本市中央区大江2-5-1
☎0120-62-4095
(入試課)

<春のキャンパス見学会>3/23(土)10:00~14:30 高校生・保護者に向けた進学相談会です。入試情報、学生生活情報、在学生とのトークコーナーなど、入試から身近な学生生活まで相談できます。

参 無料 申 不要



菊池郡菊陽町武蔵ヶ丘北2-8-1
☎096-338-8840
(武蔵ヶ丘キャンパス教務課)
主催:書道コース23期生

<第38回 尚綱大学卒業書作展>2/13(水)~17(日) 平日9:30~18:30、土・日9:30~17:15(県立美術館分館展示室3にて) 文化言語学部書道コース4年生と教員の作品約40点を展示。漢字各書体、仮名の創作・臨書、漢字仮名交じり書などの大作がずらり。

参 無料 申 不要



熊本市中央区黒髪3-12-16
☎096-343-1600
(学務・入試センター)

<今後の入学試験日程> センター試験利用入試(本学独自の試験なし):出願期間2/1(金)~12(火)。一般II期:3/6(水)、出願期間2/20(水)~27(水)。全て出願期間内必着です。詳細はホームページでご確認ください。



熊本市東区月出3-1-100
☎096-383-2929
FAX 096-384-6765
(企画調整室)
kikaku@pu-kumamoto.ac.jp

<国際シンポジウム>2/15(金)13:00~16:00 「日本と東アジアの経済協力」をテーマに、外交・国際経済の専門家が講演します。会場はホテル日航熊本(中央区上通町)。

参 無料 申 メールかFAXで2/12(火)までに



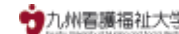
熊本市北区和泉町325
☎096-275-2215
(入試課)

<センター試験利用入試(後期日程)>出願期間2/15(金)~27(水) 指定の大学入試センター試験の教科・科目点数を用いるほか、グループ面接を実施。出願期間内にWeb出願登録、入学検定料納入、提出書類の郵送を全て完了してください。



熊本市東区渡鹿9-1-1
☎096-386-2608
(九州教学課入試広報担当)

<学力選抜入試 一般入試 B方式> 試験日:2/28(木) 出願期間は2/4(月)~21(木)<締切時間は23:59まで> 受験地区・試験場は志願者が選択できます。詳細は同大の入試情報、および入学試験要項(WEB)を必ずご確認ください。



玉名市富尾888
☎0968-75-1850
(入試広報課)
http://www.kyushu-ni.ac.jp/

<入学試験日程> センター試験利用入試(前期):出願期間2/5(火)まで(消印有効)、独自試験なし。一般入試(後期):出願期間2/13(水)~26(火)消印有効、試験日3/3(日)。センター試験利用入試(後期):出願期間2/21(木)~3/11(月)消印有効、独自試験なし。詳細は本学Webサイトで確認を。資料請求、過去問題集は全て無料



熊本市西区池田4-22-1
☎096-326-6810
(入試課)

<まだ間に合う! 入試>2/18(月)~ センター試験利用入試(中期)、25(月)~一般入試(後期)、専願志入試(後期)、芸術学部実技入試(後期)の願書を受け付け。



上益城郡御船町滝川1658
☎096-282-0506(広報課)
FAX096-282-7800

<こども学科卒業ステージ公演ミュージックフェスティバル>2/17(日)15:00~16:30 鶴屋ホールで、4年間の学びの集大成としてミュージカルを披露。その他、歌やダンスなど子どもから大人まで楽しめるステージです。

参 無料 申 2/8(金)までに電話かFAXで



合志市栄3805
☎096-248-1188
(教務課)

<第40回卒業証書授与式>3/9(土)10:30~11:30(本校体育館) 新たな農業の担い手を目指して2年間学んできた本校学生が卒業を迎えます。卒業生のうち約60%が新たな農業者として、地域農業を支えています。



菊池郡菊陽町大字原水4455-1
☎096-232-9700
(総務学生課)
kpct@kumamoto-pct.ac.jp

<学校見学>9:00~17:00(要事前申し込み) 1人に1台あるPCや旋盤・フライス盤など、充実した少人数教育の現場を見ることができます。随時受け付け。学校単位、グループ単位で申し込みを(1人でも可)。

参 無料 申 見学したい学科や日時、人数を電話かメールで1週間前までに

大学生活、のぞいてみる？

Campus shot!

入学試験を突破して、夢の大学生となったセンパイたちは、どんなキャンパスライフを送っているのでしょうか。県内の大学に通う大学生の日常を聞きました。

心理学を生かし地域の力に

高校時代に友人たちからさまざまな相談を持ち掛けられることが多かった経験がきっかけとなって、心理学に興味を持ったという湯野直人さん。心理臨床学科で学び、卒業研究を進める中で、世の中にはいろんな人がいて、さまざまな考えがあることを改めて気づいたといいます。「自分の考えを伝えるためには、相手の考えに沿った説明の仕方が大変重要だと思いました」

また、サッカー部のキャプテンとして部員たちをけん引し、貴重な経験を積みました。「顧問の先生から『部活は社会人になるための通過点』と、マナーなどの指導も受け、人間力を培えました」と振り返ります。

在学中に学んだことを生かし、4月からは県職員として地域を支える力になりたいと考えています。



部活では、キャプテンとして人を動かす手腕を磨いたという湯野さん。「まずは自分が動いて準備することの大切さを学びました」

お口の健康を診れる養護教諭に

歯科衛生士の資格取得を目指す久保朋音さん。「子どもの頃、歯医者さんで優しく接してくれた歯科衛生士さんのことが忘れられなくて」と興味を持ったきっかけを話します。看護や福祉など、医療に関して幅広く学べ、歯科衛生士の資格だけでなく、養護教諭の免許も取得できる九州看護福祉大学に進学しました。

3年次への進級を控え、座学に実習に忙しい毎日。歯石を取るスケーラーの使い方や患者さんが座る椅子の角度・ライティングの調整など、医療現場と同じ治療設備・器具を使い、実践力を磨いています。「臨床経験のある先生方が少人数による個別指導で教えてくださるので、分からないことは何でも聞いて、その場で解決しています」

将来の夢は養護教諭として働くこと。「お口の健康についてアドバイスができる、優しい保健室の先生になりたいんです」と熱く語ってくれました。



スケーラーやピンセット、ミラー、探針など必要な器具を金属トレーにセットしたら、実習スタート！

Student File.09

九州ルーテル学院大学

人文学部 心理臨床学科4年

湯野 直人さん

湯野さんに2つの質問！

- この大学のいいところは？
少人数制なので先生方との距離が近いこと。疑問点を相談しやすく、すぐに解決できます。
- 心理学を研究して良かったことは？
大学生活やプライベートのさまざまな場面で生かし、対応できるようになったことです。

Student File.10

九州看護福祉大学

口腔保健学科2年

久保 朋音さん

久保さんに2つの質問！

- 好きな芸能人は？
俳優の高杉真由さん。「2月に公開される歯科医療をテーマにした映画『笑顔の向こうに』に出演されるので、楽しみです」
- この大学のいいところは？
看護やリハビリなど、さまざまな分野を目指す仲間たちと共に学ぶことで、幅広い知識が習得できるだけでなく、医療現場での他職種連携を想定した実践的な学びができるところ。

Workers Interview!

県外出身の私たちが 熊本を選んだ 理由

わけ



Why is that?

熊本県内の企業には、県内出身者以外にも、県外から就職をした人がたくさんいます。どうして熊本での就職を選んだのか、熊本の魅力や働きやすさについて県内企業に勤める3人に話を聞きました。



Workers Interview
1

株式会社えがおホールディングス
人財開発部 人財開発チーム
鹿児島県出身 内村 智里さん



新しい出会いが
自分の成長につながっています

人財開発チームで新卒大学生の採用業務に携わる内村智里さん(26)。全国各地で開催される同社の合同説明会では、学生から質問を受けたり、会社の魅力や仕事のやりがいなどを伝えたりしています。

大学卒業まで、実家のある鹿児島で暮らしていましたが、「人々の健康を支える仕事をしたかったので、勤務地よりもやりたいことを優先」して、熊本の会社を選びました。知り合いが全くなかったものの、「入社後2年間は先輩や同期と寮生活。先輩は親身になって様々な事を教えてくれましたし、同期とも何でも分かち合えるようになりました。本当の家族のようで、すごく楽しかったですね」と振り返ります。また、「新たな仲間と出会い、今までとは違った価値観が生まれるなど、自分の成長につながっているのかな」とも。地元を離れたことで、「コミュニティーが広がった。」と笑います。

休日は、2カ月に1度のペースで地元へ帰り、両親や友達とゆっくりした時間を過ごしています。「鹿児島にもすぐに帰れる距離なのが良いですね。月曜からまた仕事頑張るぞという気分になり、仕事もプライベートも充実しています」



公私を支えてくれるのは、熊本の`人、
家族のような大切な存在です

熊本県立大学進学を機に、大分から熊本へ移住したという御手洗法子さん(24)。入社2年目で、現在は佐賀店に配属され、佐賀と熊本を行き来しながら住宅の営業と人材採用の業務に奔走しています。公務員志望だったにもかかわらず、友人に連れられて訪れたLib Workの就職説明会に参加し「ここで働きたい!」と決意。「先輩方の心が込もった対応に感動しました。勤めていく上で支えてくれるのは人。この`人の輪、の中で働きたいと直感しました」。当時の思いを語ります。

仕事を通して多くの人と関わる中で、熊本の一番の魅力もまた`人、だと気付きました。「まるで家族の一員のように接してくださる優しいお客さまばかり。家をつくる喜びを一緒に共有できる`家族、の存在は、私を支える大きなやりがいです」



Workers Interview
2
株式会社Lib Work
コンサルティング営業部
大分県出身 サブマネージャー 御手洗 法子さん



熊本から世界へ飛び出す
チャンスはいくらでも転がっています

「定年までこの会社で働き続けたい」と話す花原裕樹さん(33)は、大学進学で宮崎から熊本へ移住し、入社11年目を迎えます。二輪車の部品を製造する工場の中で、製造ロボットを制御するデータを構築するなど、量産の要を担うモノづくりのエキスパートとして活躍。ワークライフバランスを遵守し、福利厚生の充実を図る会社の姿勢に応えるように、有給休暇なども取得しながら、イキイキと働いています。

熊本で働く魅力は「自分らしく自然体でいられること」と花原さん。休日に趣味の釣りや家族と出かけたりすることと同様に、仕事で海外へ技術指導の機会があることもやりがいの一つと語ります。「四つの海外拠点を有するグローバル企業だから、本人のやる気次第でチャンスはいくらでも転がっています。熊本から世界へ飛び出していけることが、この会社の一番の魅力ですね」



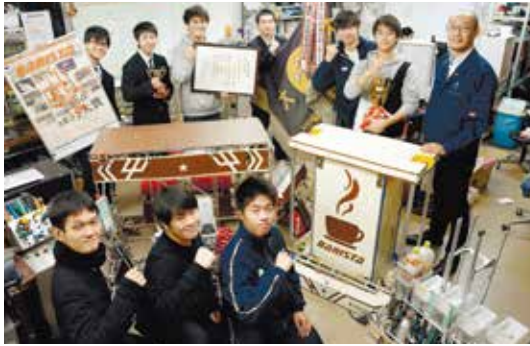
Workers Interview
3

合志技研工業株式会社
工場管理課
宮崎県出身 花原 裕樹さん



熊本の女性と結婚して一児の父となり、念願のマイホームも手に入れました。「保育園や医療費の助成など、熊本は子育ての環境も整っているのが安心。一緒に釣りに行ける日が今から楽しみです」と目を細めます。

高専八代「ロボコン大賞」 2種のプログラムが高評価



全国高等専門学校ロボットコンテストで最高賞を受賞したロボコン部メンバーと制作した2台のバリスタ＝八代市

熊本高専八代キャンパス（八代市）のロボコン部のチームが、「全国高等専門学校ロボットコンテスト2018」で、優れたロボットに贈られる最高賞の「ロボコン大賞」を受賞した。

全国高等専門学校連合会などが毎年開き、31回目。全国大会は11月下旬、東京であり、地区代表26チームがトーナメントで戦った。

今回の競技は、水などで規定の重さにしたペットボトルを立たせる「ボトルフリップ」。自作のロボット2台を使って高さや面積が異なる八つの台座に向かって投げ、立たせた本数や速さを競う。

高専八代のメンバーは1～5年生10人。自動制御と手動操縦の2台のロボット「BARISTA（バリスタ）」で臨んだ。2台が合体しアームを伸ばして得点の高い台座を狙ったり、2台が別々に動いてスピードを競ったりできる。ルールに応じて2種類のプログラムを用意したのは同チームだけだった。

九州・沖縄地区大会ではロボットの技術力が評価され代表4校に選出。全国大会は準決勝で敗れたが、圧倒的な得点力やアイデア、技術力などが総合的に評価され、ロボコン大賞に輝いた。

リーダーの湯野友貴さん（5年）は「全ルールに適應しようとした努力が評価されてうれしい。今後の人生の励みになる」。山下徹顧問（43）は「新技術を取り入れて挑戦した結果。下級生たちには次の大会への糧にしてほしい」と話した。（12月16日朝刊）

ルフィ像、県庁で除幕 「復興に向け出航だ」

人気漫画「ONE PIECE（ワンピース）」の主人公ルフィの等身大立像が11月30日、県庁プロムナードにお目見えした。除幕式では、「復興に向けて出航だ」とのルフィの声を合図に、右拳を高く突き上げた姿が披露され、詰め掛けたファンや被災者を喜ばせた。

立像はブロンズ製で174センチ。熊本市出身の作者尾田栄一郎氏が細部までデザインを監修し、トレードマークの麦わら帽子をかぶり、海賊マント、半ズボン、サングル姿。30センチの台座の上に笑顔で立っている。

熊本地震の復興支援で多額の寄付をした尾田氏の県民栄誉賞を記念し、県が建設した。式典には尾田氏の両親や掲載誌の週刊少年ジャンプの中野博之編集長らが出席。蒲島郁夫知事が「ルフィのように、逆境にあっても諦めずに復興に向かいたい」とあいさつした。

県はルフィの他にも、「麦わらの一味」と呼ばれる仲間の8体の像を県内に設置予定。県秘書グループによると同日が設置希望の締め切り期限で、計31市町村から応募があった。（12月1日朝刊）



県庁プロムナードに設置された漫画「ワンピース」の主人公ルフィの銅像を撮影する人たち＝11月30日、熊本市中央区

Kumamoto Economic News

2019. January

「経済って何?」と聞かれたら、
あなたは何と答えますか。

難しく堅苦しいイメージだけど、

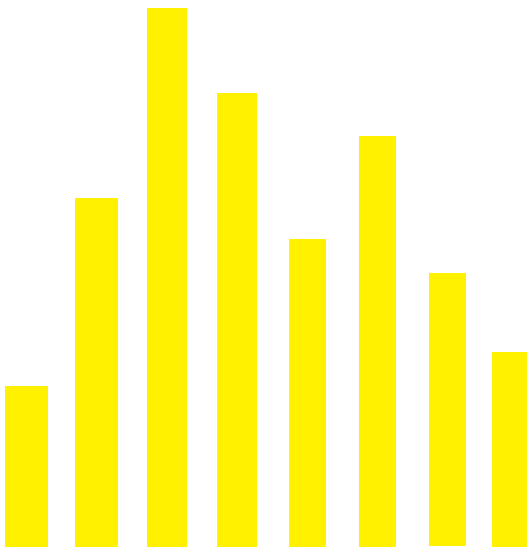
お金も含めて私たちの生活を

動かしている、それが経済です。

熊本を動かしているさまざまな

経済活動を、新聞から探しました。

*記事は、熊本日日新聞の朝夕刊から抜粋



「くまモンカブ」お披露目 ホンダ、県庁に試作車展示

ホンダが二輪車スーパーカブシリーズで開発中の「くまモンカブ」の試作車が1月8日、県庁でお披露目された。今夏までに国内向けに発売予定で、同社幹部や蒲島郁夫知事は「多くの人に愛される存在に」と期待を込めた。

くまモンカブはレジャー用でも人気の「新型クロスカブ」の110ccと50ccで開発し、大津町の熊本製作所で量産する計画。

ホンダによると、開発の出発点は「女子高生にも人気が出るような製品」。オフロード仕様の車体で配色は黒と赤の2色。シャープな外観ながら、笑顔のくまモンのエンブレムや、シートにさりげなくあしらった足跡の模様など、かわいらしさものぞかせるデザインにするという。

ホンダの鈴木哲夫執行役員らは「若い人が二輪に興味を持つきっかけにしたい」と期待。「東南アジアなどでニーズがあれば、現地の法規に合った仕様で生産し、輸出する形になる」と海外展開への意欲にもじませた。

（1月9日朝刊）



くまモンカブの試作車を囲むホンダと県の関係者＝県庁

今月の クローズアップ



県職員、1月から時差出勤に 仕事と生活の調和図る

県は1月4日から、知事部局の職員約4200人に時差出勤を認める制度を導入する。1年を通して5種類の時間帯で勤務できるようにし、仕事と生活の調和を図

河内漁協ブランドのり 3年連続で国内最高値



2018年度の乾のり初入礼会で、3年連続で全国最高値となった「塩屋一番」を使った焼きのり＝熊本市西区

11月から12月にかけて国内のノリ産地であった2018年度の乾のり初入礼会で、河内漁協（熊本市）のブランド「塩屋一番 特」が1枚当たり185円の値を付け、3年連続で国内最高となった。

生産者と共に首都圏の商社を訪問するなど、消費者ニーズを把握しながら品質向上を図ってきたのりで、見た目だけでなく、うま味や柔らかさ、香りを重視しているという。

12月上旬に同市西区の県漁連本所であった初入礼会では県内14漁協から出品された約3700万枚の中で最高値となり、1枚当たりの最高値は佐賀県の105円や福岡県の73円50銭などを上回った。

落札したのは、3年連続で食品メーカーの通宝（熊本市）と風雅（同）。焼きのりとして風雅の店舗や鶴屋百貨店で販売されており、河内漁協の担当者は「生産者の努力を地元メーカーに評価していただいた。今後もおいしいノリづくりを続けたい」と話している。

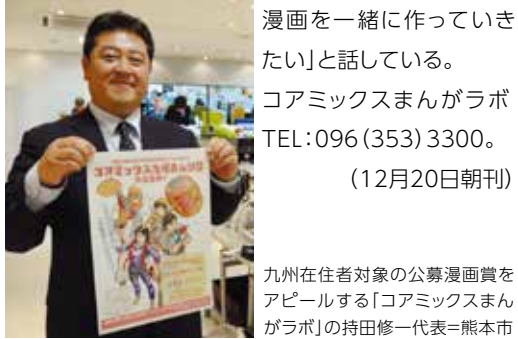
（12月28日朝刊）

来れ才能「九州」漫画賞新設 「まんがラボ」のコアミックス

「月刊コミックゼノン」などを発行する漫画出版社コアミックス（東京）は、九州・沖縄在住者を対象にした公募漫画賞を始める。最高賞のグランプリの賞金は100万円で、連載デビューができる。同社は、熊本市内に編集部の分室「まんがラボ」を設けており、漫画賞の創設で新たな才能を発掘する。

公募漫画賞は、漫画家デビューへの近道とされている。応募者の居住地を限定するのは珍しいという。昨年12月20日から、せりふのない「サイレント」や、せりふありの「ストーリー」、絵コンテの「ネーム」の計3部門で募集。応募は4月30日まで。漫画家北条司さんらが審査し、結果を6月30日に発表する。漫画賞は毎年2回実施していくという。

まんがラボは昨年10月、熊本市中央区の鶴屋百貨店WING館7階にオープン。漫画原稿の持ち込みを無料で受け付け、編集者が助言する。代表の持田修一さん（51）は「応募前から作品を持ち込んでアドバイスを受けてほしい。熊本クオリティーと呼ばれる質の高い



漫画と一緒に作っていき

たい」と話している。

コアミックスまんがラボ
TEL:096(353)3300。

（12月20日朝刊）

九州在住者対象の公募漫画賞を
アピールする「コアミックスまん
がラボ」の持田修一代表＝熊本市

寄せられた。業務上のトラブルは生じなかったという。

県人事課は「柔軟な働き方は時代の流れ。職員が働きやすい環境をつくっていきたい」としている。

（12月19日朝刊）

時差出勤パターン	県が導入する	①	7時30分	昼休み 12時～13時	16時15分
		②	8時		16時45分
		基本	8時30分		17時15分
		③	9時		17時45分
		④	9時30分		18時15分

部活でイキイキと輝く若者たちを紹介するコーナー。今回は、2018年度「ジャパンカップバトントワリング全国大会」で入賞した菊池女子高校バトントワリング部を訪ねました。

仲間との時間が大きな力に バトンがつなぐ信頼の輪

菊池女子高校
 バトントワリング部

菊池女子高校バトントワリング部は創部してまだ2年目。しかし、昨年8月の「ジャパンカップバトントワリング全国大会」では、スピード感あふれるテクニックと息の合ったパフォーマンスを披露し、6位入賞を果たしました。当時部員は6人で、半分は始めて1年足らず。部長の有馬伊吹さん(普通科3年)は、本番で一度もバトンを落とさなかった仲間の力強い姿に、思わず涙したといいます。現在、新しい楽曲に挑戦中で、10月に入った新入部員を指導しながら、共に技術を高め合う毎日です。

「少人数だからこそ築ける信頼関係は、他校にはない武器の一つ」と話すのは、指導に当たる外部コーチの米岡宝さん(熊本学園大学4年)。「一本のバトンが心をつないでくれること、仲間との時間が自分を支える力になることなどを感じてくれればうれしいですね」。思いと絆で輝くバトンが、今日も華麗に宙を舞います。



(左)毎週月曜の練習後には体育館を開放し、バトントワリングを通じた地域交流に取り組んでいます。地元でパフォーマンスを披露する場も増え、米岡コーチ(前列右端)指導のもと、練習にも力が入ります (右)2018年度の大会で選んだ団体競技の曲はMISIAの「明日へ」。「明日への希望、皆一丸となって歩き続けよう」という思いが込められた曲です



抽選で
5名様

PRESENT

WK読者限定プレゼント

応募はこちら



「WA-KURAS」vol.5はいかがでしたか? ご応募いただいた方の中から抽選で、KEYTALKのサイン色紙を**5名様にプレゼント**します。2月28日(木)締め切り。

■応募方法

右のQRコードをスマートフォン、タブレットで読み取り、プレゼント応募ページにアクセス。アンケートに答えて、**氏名、住所、電話番号**を記入して送信してください。※お預かりした個人情報は賞品の発送に使用するとともに、今後の紙面作りに活用させていただきます。

皆さんのご応募お待ちしております♡



WK

WA-KURAS (ワクラス)
 vol.5 2019年1月30日発行

■発行/熊本日日新聞社

〒860-8506 熊本市中央区世安町172 ☎096-361-3348

WA-KURAS(ワクラス)

高校生・大学生・保護者、そして全県民に向けて、熊本で暮らす。働く。魅力を発信する情報紙。熊本にある、熊本が育んだステキな人やモノ、コトなど、ジモト愛あふれる情報をお伝えしていきます。WA-KURASとは「ワクワク、はたらく。ワクワク、くらす。」という意味を込めた造語。